



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年10月28日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 吉田 勝彦
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績（平成26年4月1日～平成26年9月30日）

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,772	3.2	223	40.0	227	45.0	121	49.9
26年3月期第2四半期	8,497	△0.7	159	37.5	156	48.7	80	241.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.79	—
26年3月期第2四半期	3.86	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	12,701	3,628	28.6
26年3月期	12,057	3,475	28.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,628百万円 26年3月期 3,475百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	1.9	340	26.0	330	25.9	160	32.8	7.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	21,039,480株	26年3月期	21,039,480株
27年3月期2Q	75,687株	26年3月期	75,588株
27年3月期2Q	20,963,818株	26年3月期2Q	20,964,707株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(2) 追加情報	P. 3
3. 四半期財務諸表	P. 4
(1) 四半期貸借対照表	P. 4
(2) 四半期損益計算書	P. 6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 7
4. 補足情報	P. 7
販売実績	P. 7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動のため4月に大きく減少した鉱工業生産の回復が遅れ、実質可処分所得の目減りなどにより個人消費にも弱い動きが見られるなど、景気は弱含みで推移しました。当業界におきましては、消費者の節約志向が続く中、販売競争の激化に加え、円安による原材料価格やエネルギーコストの上昇もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、品質の向上と、市場動向やお客様のニーズに即した新製品開発に注力し、付加価値の高い製品提案ならびに主力製品の育成と拡販に努めました。また、原材料費や燃料費の上昇を吸収すべく経営の効率化へ継続して取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、しっとりやわらかな食感の特徴を訴求し、積極的な広告宣伝活動の実施により取扱拡大をはかった「絹艶」が好調に推移し、また「デニッシュローフ」や「ムー・ブラン」などバラエティ食パンの積極的なリニューアルやシリーズ化により、前年同期の売上を上回りました。菓子パン部門は、「北の国のベーカリー」シリーズが好調に推移したことに加え、平成26年3月発売の「しっとりマルシェ」シリーズがお客様のご好評を得たことにより、堅調に推移しました。和菓子部門は、串団子の取扱拡大やロングライフ製品および季節商品の拡充をはかり、前年同期の売上を確保しました。洋菓子部門は、「厚焼きパンケーキ」の拡販によるスナックケーキ類の回復と「魅惑のチョコブリッコ」などのチルド製品の伸長により、売上は前年同期を上回りました。調理パン・米飯部門は、量販店向けの米飯が大幅に伸長しました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は8,772百万円(対前年同期比103.2%)、営業利益は223百万円(対前年同期比140.0%)、経常利益は227百万円(対前年同期比145.0%)、四半期純利益は121百万円(対前年同期比149.9%)となりました。品質訴求による製品提案および販売強化により売上拡大をはかり、効果的な販売促進の実施に加えて、各部門における業務の見直しなど全社的なコスト低減を進めたことにより増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における資産合計は12,701百万円で前事業年度末に対し、643百万円増加しました。流動資産は4,438百万円で主に現金及び預金が607百万円増加し、売掛金が58百万円減少した結果、前事業年度末に対し575百万円増加しました。固定資産は8,262百万円で前事業年度末に対し68百万円増加しました。負債合計は9,072百万円で、長期借入金の増加等により前事業年度末に対し490百万円増加しました。純資産合計は3,628百万円で前事業年度末に対し153百万円増加しました。利益剰余金が121百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円増加したことによるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における自己資本比率は28.6%、1株当たりの純資産は173円09銭となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、景気対策により早期に持ち直すことが期待されるものの、消費税や光熱費等の家計負担の増加による消費マインドの悪化が懸念され、景気の先行きは予断を許しません。当業界におきましても、消費者の節約志向が続く中で販売競争が激化し、また原材料価格の高止まりや燃料費、電気料金の上昇により、厳しい収益環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、引き続き製品の品質向上をはかり、安全・安心でお客様に認められる価値の高い製品開発に努めてまいります。去る10月1日には、品質を更に向上させた「絹艶プレミアム」を発売するとともに、同日から2ヶ月間に亘り実施する「絹艶10年目ありがとうキャンペーン」を活用して、「絹艶」ブランドイメージの向上と食パン売上の拡大をはかってまいります。引き続き、生産・販売一体となった製品施策・営業戦略の展開により新しい需要の創造に取り組むとともに、一層の業務効率化を推進して収益向上に努めてまいります。

なお、平成27年3月期通期に関する業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績動向を考慮し、平成26年5月13日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成27年3月期第2四半期累計期間業績予想値と決算値との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を基礎に決定する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更し、並びに割引率を変更いたしました。

この結果、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ8,842千円減少しております。

(2) 追加情報

表示方法の変更

(四半期損益計算書)

前第2四半期累計期間において区分掲記しておりました「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」は、第1四半期累計期間より「法人税等」に一括掲記することといたしました。これに伴い、前第2四半期累計期間の財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,606,616	2,214,126
受取手形及び売掛金	1,885,947	1,827,348
商品及び製品	41,912	43,422
仕掛品	31,770	33,121
原材料及び貯蔵品	125,019	122,656
繰延税金資産	77,912	86,567
その他	94,795	111,597
貸倒引当金	△977	△757
流動資産合計	3,862,997	4,438,082
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,379,433	1,407,136
機械及び装置(純額)	1,299,688	1,287,823
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	169,543	195,262
有形固定資産合計	7,511,071	7,552,628
無形固定資産		
その他	72,690	71,964
無形固定資産合計	72,690	71,964
投資その他の資産		
投資有価証券	417,900	463,847
投資不動産(純額)	87,907	87,839
繰延税金資産	49,868	36,383
その他	60,897	56,054
貸倒引当金	△5,664	△5,743
投資その他の資産合計	610,910	638,381
固定資産合計	8,194,671	8,262,974
資産合計	12,057,669	12,701,057

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,004,958	2,034,665
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	536,992	516,084
未払法人税等	84,717	102,170
賞与引当金	181,626	201,337
その他	865,500	1,063,686
流動負債合計	4,823,794	5,067,943
固定負債		
長期借入金	887,108	1,122,152
再評価に係る繰延税金負債	1,383,202	1,383,202
退職給付引当金	1,452,506	1,462,004
役員退職慰労引当金	34,210	32,742
その他	1,300	4,300
固定負債合計	3,758,326	4,004,400
負債合計	8,582,120	9,072,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	△172,153	△50,846
自己株式	△8,689	△8,702
株主資本合計	871,130	992,424
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	102,699	134,570
土地再評価差額金	2,501,718	2,501,718
評価・換算差額等合計	2,604,417	2,636,288
純資産合計	3,475,548	3,628,713
負債純資産合計	12,057,669	12,701,057

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,497,234	8,772,970
売上原価	6,074,476	6,220,912
売上総利益	2,422,757	2,552,057
販売費及び一般管理費		
販売費	1,902,189	1,956,362
一般管理費	361,080	372,387
販売費及び一般管理費合計	2,263,269	2,328,749
営業利益	159,488	223,308
営業外収益		
受取利息	126	138
受取配当金	4,084	4,914
受取賃貸料	3,342	10,032
受取保険金	6,559	4,045
その他	4,190	4,567
営業外収益合計	18,303	23,698
営業外費用		
支払利息	21,061	18,744
その他	0	929
営業外費用合計	21,062	19,673
経常利益	156,729	227,333
特別利益		
固定資産売却益	-	21
特別利益合計	-	21
特別損失		
固定資産売却損	-	183
固定資産除却損	7,273	20,356
減損損失	76	68
役員退職慰労金	2,304	902
特別損失合計	9,653	21,510
税引前四半期純利益	147,075	205,843
法人税等	66,160	84,536
四半期純利益	80,915	121,307

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

販売実績

販売実績を事業部門等別に示すと、次のとおりであります。

事業部門等の名称	前第2四半期累計期間(千円)	当第2四半期累計期間(千円)	前年同期比(%)
食パン	1,174,628	1,195,118	101.7
菓子パン	3,457,662	3,480,311	100.7
和菓子	1,736,826	1,742,263	100.3
洋菓子	427,976	435,845	101.8
調理パン・米飯類	1,430,046	1,652,569	115.6
その他(仕入商品)	270,094	266,861	98.8
合計	8,497,234	8,772,970	103.2

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。